



やなぎ美智子からのお便り

事務所 市川市鬼高2-5-16 清央荘101号室 FAX：047-307-9741
メールアドレス：kangoshi@hotmail.co.jp

3密回避の生活が長期化しています みなさまお変わりありませんか？



この間、電話や訪問でお困りごと、ご要望をお聴きして支援や給付制度の紹介をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

(みなさんから寄せ頂いた声の一部)

- 呼吸器の持病があり、感染が怖いのでPCR検査を受けたいのに医師からはできないと言われた。
- 糖尿病で、透析が必要になりそうな夫はデイサービスを利用できており、ありがたいが感染が心配。
- パソコンもスマホもないのでオンライン申請はできない。高齢者などに配慮した申請方法を希望(私はダウンロードした申請書持参で訪問しています)

市川市内の女性グループが奮闘
乳児院で院内感染が発生した東京都済生会中央病院で防護服が不足。職員総出でポリ袋で作成。それを知った気仙沼の女性が支援プロジェクトを立ち上げました。その新聞記事を見て、市内の知人女性が有志に呼びかけ、短期間に三百着作成して病院に送りました。

「おばさん達で役に立てることがあるなら一丸となって奮闘できる」と感想を寄せてくださいました。

済生会中央病院は私が看護助手として働いていた病院です。

- ① DVや虐待への相談窓口、ワンストップ支援センターの緊急拡充
- ② 女性サポートセンターの一時保護体制拡充、民間シェルターへの財政支援
- ③ 子どもを虐待から守るため、教育現場と児童相談所の連携強化
- ④ 一人十数万円給付金が確実に個人が受け取れる仕組み
- ⑤ すべての妊婦が安心して、安全に出産できる医療体制

これに先立って、4月23日、日本共産党千葉県委員会と県議団は森田知事、澤川県教育長に左記9項目の要望書を提出しています。

ジェンダーの視点で
コロナ対策の充実を求める
市川市多様性社会推進課と懇談

5月8日、県党ジェンダー対策メンバーの浅野ふみ子5区候補、岡田前県議と共に、担当課に「ジェンダーの視点で新型コロナウイルスの感染防止対策の充実を求める要望書」を携え、懇談しました。

「DV相談件数が昨年同月比で増加」「十数万円給付DV申請は40名超」「一番心配なのは子どもです」
などのお話を聞きました。

無料法律相談
6月9日(火) 7月14日(火)
午後2時~5時 市役所仮本庁舎

相談を希望される方は事前予約が必要です
日本共産党市議会議員または
市役所共産党控室にご連絡下さい
電話：334-1111
(内線4591)

- ⑥ 親が感染した場合の子どもへの責任ある対応
- ⑦ 女性パート、派遣など非正規労働者の不当解雇させない対策
- ⑧ 医療、介護、保育などで働く女性の不安・過労への特別手当支給など
- ⑨ 対策本部の女性割合を増やす



市川市多様性社会推進課との懇談を終えて

浅野5区候補、岡田前県議とやなぎ